

# あっぷるかわら版

## 4月号



**寒**い冬を乗り越え、少しずつ春の陽気に包まれながら草花も色づき始め、気持ちも明るくなり、社会

福祉法人ハートランドも新年度を迎える事が出来ました。

昨年度は、やはり日本中、世界中を混乱させた新型コロナウイルスに関する話題で持ちきりでした。

我々も新たな生活様式が日常になじみ始め、消毒の徹底や、感染対策を十分に行いながら、事業所の開所や街の中の喫茶店あっぷる・あっぷるスイーツ工房の営業を行う事が出来ました。しかしながら、今尚、混乱のまっただ中、変わらず徹底したいと思っております。

その様な状況でもあったため、コロナ前に行っていた、年に数回の日帰り旅行や、忘年会、新年会、そして様々なイベントや行事も出来ないまま約2年が過ぎました。楽しい行事が出来ない中でも、メンバーの皆はロクに、「お客様が来てくれることが何よりの楽しみ」「自分たちが作ったお弁当やスイーツを美味しいと言ってくれる喜びがある」と、日々の仕事の中で本当の喜びや、楽しみを見だし、頑張り続けたメンバーの皆は本当に頼もしく、また、皆の涙を感じられた1年でした。とは言っても、時折、「コロナが落ち着いたら皆で旅行や、ご飯を食べに行きたい」とも話しています。いつになるか分かりませんが、その日を楽しみに、そして日々の当たり前前に感謝を持って頑張りたいと思います。本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

社会福祉法人ハートランド 山下千里

### 街の中に、人の中に、、、～精神障害者の処遇の歴史IV～

前回は、社会的入院についての社会的・国際的問題や、精神科病院の在院日数についてお話ししました。

そこで今回は、その社会的入院の解消について皆さんと考えたいと思います。社会的入院とは病気が治ったり、安定しているにも関わらず、退院後の生活場所がなかったり、身寄りの家族から突き放されて、戻る場所がなかったり、数十年もの長い入院生活の中で、退院する意欲がなくなったり、そして、我々市民が精神障がい者に対する間違っただ偏見や差別が根強く残っている等多数の問題のため、本人が退院したくてもできない事が上げられます。また、施設症と呼ばれ、数十年の入院治療によって治療とは別に、その場が「生活の場」としての意識が高まり、患者自身が「今さら退院しても社会がどうなっているかも分からないし、退院するのが怖い」との感情も生まれます。

社会的入院の解消としては、まず、地域社会での受け皿が必要とされています。たとえば、長期入院から退院したとしても急な1人暮らしでは不安が強いため、他の人と共同生活や、福祉サービスを受けながら生活できる「グループホーム」の設置や、日中の生活の場や働く場、そして集まれる場、様々な場が必要です。我々が生活する中でも、仕事をする場、趣味をする場、生活する場など多くありますよね。人が健康的な社会生活を送っていく為には、さまざまな「場」いわゆるコミュニティが必要です。現在の福祉サービスとして、働く場や生活する場は現行法でもありますが、数や、事業所の持つマンパワーには限界があります。そういった「受け皿」を強化していく必要があります。

そして一番大切なのは、安心して体調を崩すことが出来る社会を作っていくことです。精神障害を抱える人々は慢性疾患と呼ばれ、完治をすることは難しいと呼ばれる障害です。ですので、精神障害を抱えた人々は常に「調子が悪くなったらどうしよう」「会社で自分の病気がばれたらどうしよう」「せっかく退院したのに調子を崩して入院したくない」と不安を抱えながら生活を送っています。そういう際に、誰かが温かく見守ったり、寄り添うことで、不安は減少して、体調も安定します。そういった、精神障害者に限らず、マイノリティーな文化の人々や、社会的弱者と呼ばれる人々、多様性を受け入れ、すべての人々が安心して暮らせる社会を作っていくことが必要です。

精神保健福祉士 山下千里

# あっぷるメンバーからの言の葉

あっぷるを利用している人(メンバー)からの言葉を添えます。( )内はペンネームです

私はあっぷるへ来た当初は包丁も持ったことがなく料理もほとんどしたことがありませんでした。でも今では、包丁で野菜を切ったり、料理の下味をいれたり、色々な事が出来るようになりました。出来なかったことが、出来るようになるのは、とっても嬉しいことです。今年であっぷるに通い始めて8年目になりました。これからもここで色々な事を学んで行きたいです。(M.T)

私はあっぷるに通い出してから、2ヶ月少しが経とうとしています。メンバーさんでお話し出来る人も増えてきました。シール貼り、(団子等)の納入、メモ用紙に日付を記入して貼り付けるなどを行っています。シールの内容によれば難しいものもあるので、気をつけたいと思っています。お皿を洗ったり、拭いたりも手早くこなしていきたいです。盛り付けも任せられたら、「そこは任せて!!」と言えるようになります。

17年前でんかんの発作が出るようになった私の今の心境を俳句にしてみました。  
“桜の木 冬をのりこえ 花咲かす” (T.A さくらんぼ)

私が来たときは最初、籠屋町商店街の喫茶店にいました。店頭販売でお弁当を袋に入れました。阿波銀行さんに配達に行きました。雨の日は大変でした。徳島マルシェの時、お弁当と焼きそばを運びました。マルシェにはお客さんが多く来てくれました。徳島そごうでの販売では、スイーツをたくさん運びました。これからも皆であっぷるを大切にしたいです。

今は、工房の洗い物をしています。洗い物がいっぱいあって大変です。洗い物だけではなく、フロランタンのシュクレ生地をのばしています。もっとフロランタンの生地をきれいにのばしたいです。(M.A.)

あっぷるに来て4月で9年になります。JRとバスとかで市外から約1時間通勤しているけど、乗るのはけっこう好きなのでいけます。あっぷるの弁当作りの作業などで、ごはんをならしたりふりかけしたり、弁当運んだり色々頑張ろうと思います。これからもあっぷるをよろしく願います。(K.I)

私はあっぷるに来て13年になります。あっぷるは楽しいです。お弁当のご飯を入れたり、洗濯物を畳んだりしています。これからも休まずにあっぷるに来たいです。(M.T)

## 5のつく日は 55ランチ

街の中の喫茶店あっぷるでは、月に一度、5のつく日は、通常700円の日替わりランチが、

550円とお得になります。今月は4月15日(金)を予定しています。無くなり次第終了となります。是非お越しください。

ここでは、お客様からのよくある質問やお問い合わせにお答えします

Q. スイーツやお弁当の大量の注文は可能ですか?

A. はい。可能です。が、弁当、スイーツ共に、大量注文の場合は事前にご予約ください。

※その時の状況より、お断りすることがあります。

街の中の喫茶店あっぷる・あっぷるスイーツ工房

営業日 水・木・金・土 (休業日 月・火・日)

※ 祝日営業はお知らせします。

営業時間 11:00~15:00

ランチ 11:30~15:00 無くなり次第終了

Tel: 088-679-8225 予約可能



社会福祉法人ハートランド  
ホームページQR

